

## 講演会「繊維 勝ち残るための戦略」

繊維製品の輸入比率が90%を超えて数十年が経過しました。汎用品は低い労働賃金を求め海外生産に移行しています。しかし、日本の繊維業界では、勝ち残るため、産官学がそれぞれあるいは得意な技術やノウハウを持ち寄り、イノベーションを起こし、世界に新しい商品を発信し続けてきました。これからも発信し続けるためには、産官学がとる「戦略」が重要になってきます。

今回の講演会では、これまでに培ったノウハウや評価技術を活用し成功させた「戦略」を紹介いただくとともに、もう一度イノベーションについて考え直し、これから進むべき道筋をお示しいたします。

これからも一般消費者あるいは企業が求める革新的な繊維製品を、日本発で発信できるきっかけにできる講演会にできればと考え企画いたしました。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 28 年 7 月 29 日(金) 13.00~17.30

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容** 予定

(1) 2020 年, 2030 年に向けての繊維・機械分野の研究開発の方向性 (13.00~14.00)

…… 元 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター センター長

滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦

(2) オープン・イノベーションで切り拓く新たな事業創造

– 国内外の最新動向と価値創造型オープン・イノベーション – (14.10~15.10)

…………… 元 大阪ガス(株) 技術開発本部 技術戦略部 オープン・イノベーション室長

(株)ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント 松本 毅

(3) 日本発国際規格の標準化戦略 (15.20~16.20)

…………… (一社) 繊維評価技術協議会 技術顧問 田澤 壽

(4) 今治タオルのブランド戦略について (16.30~17.30)

…………… 四国タオル工業組合 代表理事, コンテックス(株) 代表取締役社長 近藤 聖司

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 10,000 円, 協賛学協会会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員無料, 学生非会員 2,000 円 (税別)

**申 込** 講演会「繊維勝ち残るための戦略」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 創立 70 周年記念式典

**期 日** 平成 29 年 9 月 13 日(水)

**会 場** 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス センターホール (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

## 繊維リサイクル技術研究会第120回情報交換会 「設立15周年記念総会・講演会」～今一度、見方を変えて繊維リサイクルを考える～

**日時** 平成28年7月26日(火) 14.00～17.00

**会場** 京都工芸繊維大学60周年記念会館(京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

### 内容

開催の挨拶……………繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学 名誉教授 木村 照夫

1. 総会(14:00～14:30)

2. 記念講演会(14:40～)

開催の挨拶(14:40～14:50)

……………繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

記念講演(1)(14:50～15:50)

“エコノザウルス・笑いながら考える環境問題”

……………クリエイティングディレクター, 環境マンガ家 本田 亮

記念講演(2)(15:50～16:50)

“なぜ、繊維リサイクルにUX(ユーザーエクスペリエンス)が必要なのか?”

……………(株)日立システムズ 営業推進本部 UX推進部 部長 村井 龍生

報告事項(16:50～17:00)

設立15周年記念Party(同会館2F大セミナー室)

**共催** 京都工芸繊維大学・繊維科学センター

**問い合わせ先** 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫  
tkimura426@gmail.com

## 北陸支部 定時年会ならびに特別講演会

北陸支部では定時年会ならびに講演会を下記の要領で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

**日時** 平成28年7月22日(金) 14.30～16.10

**会場** 富山国際大学サテライト・オフィス(富山駅前CICビル3F)

### 内容

1. 支部年会(14.30～15.00)

2. 講演会(15.10～16.10)

スギノマシンにおける最新開発動向(バイオマスナノファイバーの作製と応用展開を中心に)

……………(株)スギノマシン 経営企画本部 開発プロジェクト一課 チーフ 近藤 兼司

**参加費** 無料

**申込** 氏名, 所属, 連絡先(郵便番号, 住所, 電話番号, E-mailアドレス)ご記入の上, E-mailにて7月15日17時までに下記宛てお申し込みください。

**申込先** 富山県工業技術センター生活工学研究所(担当: 金丸亮二)

〒939-1503 南砺市岩武新35-1, TEL.0763-22-2141, E-mail: kin@itc.pref.toyama.jp

# ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会 合同研究会

**期 日** 平成 28 年 9 月 16 日(金) 午後

**会 場** 高知県立紙産業技術センター, 廣瀬製紙(株)

**内 容** 予定

12.30 JR 高知駅集合

12.30~13.00 移動(貸切バス)

13.00~15.30 見学: 高知県立紙産業技術センター

講演: 「高知県立紙産業技術センターに於ける設備(主に、メルトブロー、  
スパンレース、スーパーカレンダー)の設計ポイント」

講師: 六田克俊

(日本繊維機械学会フェロー、高知県立紙産業技術センター客員研究員)

15.30~16.00 移動(貸切バス)

16.00~17.00 見学: 廣瀬製紙株式会社

17.00~17.30 移動(貸切バス)

17:30 JR 高知駅にて解散

18:00~19.30 交流会

**定 員** 20 名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 12,000 円, 非会員 20,000 円, 学生会員無料, 学生非会員 3,000 円(税別)

ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会メンバーは無料, 交流会参加費別途 6,000 円程度

**申 込** 「ナノファイバー研究会・不織布研究会合同研究会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**その他** 詳細な集合場所等は参加者へご案内致します。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは、海外諸国に比較して弱体化しつつあり、体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し、本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して、人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです。

ベテランの方々には知識の整理に、中堅の方々には情報の収集に、若手の方々には基礎知識の吸収に、テキスタイルカレッジへのご参加をお勧め申し上げます。

平成 28 年	
開催済 「2日で学ぶ布づくり」(2日間)	11月 25 日(金) 「実習: KES による布特性の測定講座」
開催済 「糸づくり講座」	12月 6 日(火) 「合織の基礎と最新の技術」(1日目)
開催済 「染色加工基礎講座」(2日間)	12月 7 日(水) 「合織の基礎と最新の技術」(2日目)
9月 9 日(金) 「織り組み編み基礎講座」	開催日未定 「繊維製品の品質管理と品質保証」
10月 14 日(金) 「染色加工応用講座」	開催日未定 「感覚と計測」
10月 20 日(木) 「不織布実用講座」(1日目)	
10月 21 日(金) 「不織布実用講座」(2日目)	

## 関東支部 講演会・見学会

この度、関東支部では目覚ましい復興が続く福島の地において、講演会・見学会を開催する運びとなりましたので、下記の通りご案内申し上げます。なお、本行事へは本学会員のみならず、また、関東支部地域にこだわることなく、どなたでもご参加いただけます。ご高配の程、宜しくお願ひ申し上げます。講演会、見学会の参加費は無料です。ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。

**日時** 平成28年9月29日(木)、30日(金)

**会場** コラッセふくしま企画展示室 (JR福島駅、徒歩2分)

<http://www.corasse.com/access>

**内容** 第一部：講演会9月29日(木) 12.45～16.30

### 1. 講演

(1) 着かないモノを、着ける技術、車や飛行機の軽量化も可能 (12.45～13.45)

..... 福島大学 共生システム理工学研究科 教授 金澤 等

(2) 京都市域の繊維産業支援に向けた取組事例の紹介 (13.45～14.45)

..... 京都市産業技術研究所 杉浦 和明

ポスター発表／コーヒープレイク (14.45～15.30)

(3) 再生可能エネルギー研究の最前線 (15.30～16.30)

..... 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 研究センター長 仁木 栄

第二部：見学会9月30日(金) 現地集合 13.30 スタート (90分の予定)

見学先：産総研 福島再生可能エネルギー研究所

**定員** 講演会 (9月29日) 100名、見学会 (9月30日) 10名

**参加費** 無料

**申込** 氏名、所属、連絡先をご記入の上、以下までE-mailまたはFAXにて申込み下さい。

**その他** 1日だけのご参加も受け付けております。是非、前向きにご検討下さい。9月29日の宿泊先を関東支部で斡旋します。必要な方はお問い合わせ下さい。参加申し込みの際は、連絡先メールアドレスを必ずお知らせ願ひます。

**申込先** E-mail : [idaida@gunma-u.ac.jp](mailto:idaida@gunma-u.ac.jp), FAX.0277-30-1409

**問合せ先** 関東支部長、群馬大学 理工学部 環境創生部門 河原 豊  
〒376-8515 桐生市天神町1-5-1 TEL.0277-30-1491, [kawahara@gunma-u.ac.jp](mailto:kawahara@gunma-u.ac.jp)

## 協賛行事 第40回静電気学会全国大会

**日時** 平成28年9月29日(木)、30日(金)

**会場** 群馬大学 桐生キャンパス (群馬県桐生市天神町1-5-1)

**主催** 静電気学会

**内容** 詳細は静電気学会HP (<http://www.iesj.org/>) をご参照下さい。

テキスタイルカレッジ

# 織り組み編み基礎講座

布は、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されています。衣料用のみならず、産業用途としても織・組・編の構造物が多く用いられている昨今です。これらの構造物は複合材料にも様々な分野で用いられており、それぞれの構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

織・組・編の専門家を講師としてお迎えし、テキスタイルの製造方法や構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたって、わかりやすく解説していただきます。布の製造工程に携わっておられる方々のみならず、幅広い分野の方々を対象としています。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 28 年 9 月 9 日(金) 10.00~17.55

**会場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

- 内容**
- (1) 織物 (10.00~12.00) …… 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 所長 古谷 稔
  - (2) 組物 (13.00~15.00) …… 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住 忠司
  - (3) 編物 (15.15~17.55)
    - 3-1) 横編 (15.15~16.15)
      - …………… あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田 ゆか
    - 3-2) 丸編 (16.25~17.05) …… (株)福原精機製作所 技術部開発課 武内 俊次
    - 3-3) 経編 (17.05~17.55) …… 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船 宏之

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申込** 「テキスタイルカレッジ織り組み編み基礎講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 企画委員会

<b>委員長</b>	中西 康雅 (三重大学)		
<b>副委員長</b>	井出 潤也 (クラレ)	田上 秀一 (福井大学)	松崎 健 (ミズノ)
<b>企画委員</b>	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	伊藤 智樹 (ポークン品質評価機構)	稲富伸一郎 (東洋紡)
	奥野 智朗 (住江織物)	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)
	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)	杉山 稔 (倉敷紡績)
	杉山 研志 (TMT マシナリー)	筒井久美子 (村田機械)	高橋 利幸 (東レ)
	仲井 朝美 (岐阜大学)	西山 武史 (ユニチカトレーディング)	馬場武一郎 (日本毛織)
	原 茂 (豊田自動織機)	伴場 秀樹 (津田駒工業)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)
	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	若松 栄史 (大阪大学)	
<b>アドバイザー</b>	宇治 光洋 (ダイセン (繊維ニュース))	岡 卓之 (レフトバンク)	越智 清一 (繊維評価技術協議会)
	武内 俊次 (福原精機製作所)	中村 信 (ダイキン工業)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)
	六田 克俊 (森田工業)		

## テキスタイルカレッジ

## 染色加工応用講座 - 繊維機能後加工・評価 -

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」では、染色理論から繊維別での染色加工技術および繊維製品の品質保証に関する基礎について概説しました。「染色加工応用講座」では、基礎講座を踏まえ繊維別染色加工の応用技術だけでなく、高機能素材などの要素技術、さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を、繊維業界に長年携わってこられた方々によりわかりやすく解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 28 年 10 月 14 日(金) 10.00~18.30

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

- 内 容**
- (1) 機能加工剤 (10.00~12.00) …… 元日華化学, 金崎技術士事務所 金崎 英夫  
最近の機能加工剤は機能の探求だけでなく、安全性、環境への影響を配慮して開発がなされており  
ます。ここでは撥水撥油加工剤、防汚加工剤、衛生加工剤、難燃加工剤、水系ウレタン樹脂加工剤を中心  
に機能、加工処方等に関して解説します。
- (2) 機能加工「ウール」(13.00~14.00) …… 元日本毛織, 元日本羊毛産業協会 長澤 則夫  
ウールは元々多くの機能を併せ持っています。例えばはっ水性、難燃性、形態安定性、消臭性、セッ  
ト性などが挙げられます。しかしその性質を個々に評価すると、いずれもが機能性を訴えるには力不足  
なので、加工により補強しています。この点をわきまえて、加工の考え方とその事例について解説します。
- (3) 機能加工「合繊」(14.10~15.10) …… 岐セン(株) 代表取締役社長 後藤 勝則  
合繊及びその複合繊維編物の高付加価値を図る手段として機能性付与加工は、テキスタイル加工の重要  
な要素技術の一つである。機能性付与技術及び融合技術を染料・染色加工・後工程の各工程での考え方、  
加工手法などを事例に沿って解説します。
- (4) 機能加工「綿」(15.20~16.20)  
…………… 倉敷紡績(株) 繊維事業部 技術部長 付 勝圓 進  
天然繊維である綿の人類とのかかわりは歴史的に古く、適度な吸水、吸湿性や風合いの柔らかさなど  
の特長を生かして、今なお代表的な繊維として様々な分野で使用されています。その一方で、機能性付  
与についての研究開発も盛んに行われていますので、これらの動向について紹介します。
- (5) 評価 (16.30~18.30) …… (一社)繊維評価技術協議会 参事, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一  
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介し  
たあと「清潔」「安全・安心」「快適性」および「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性につ  
いて、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ染色加工応用講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。  
学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 染色加工研究委員会

<b>委員長</b>	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
<b>運営委員</b>	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上野 清隆 (日阪製作所)
	越智 清一 (繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)
	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)	長澤 則夫 (日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡リングサービス)
	森本 國宏 (森本技術士事務所)	吉川 雅敏 (東洋紡)	

テキスタイルカレッジ

## 不織布実用講座

不織布の概論、短繊維ならびに長繊維不織布の製法、加工法ならびに構造と性質および用途などについて、最新の情報も含めて系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため、若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 28 年 10 月 20 日(木)、21 日(金)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容** 1 日目【10 月 20 日(木)】

- (1) 不織布概論 (10.00~12.00)  
..... 日本不織布協会顧問, 不織布研究会委員長, 日本繊維機械学会フェロー 矢井田 修
- (2) 短繊維不織布技術—乾式不織布 (13.00~14.10)  
..... 倉敷繊維加工(株) 企画開発部 部長 近石 尚樹
- (3) 短繊維不織布技術—湿式不織布 (14.20~15.30)  
..... 特種東海製紙(株) 研究開発センター 市場開発部 部長代理 服部 景
- (4) 不織布の物性測定について (15.40~16.40)  
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

2 日目【10 月 21 日(金)】

- (5) 長繊維不織布技術—メルトブロー (10.00~11.10)  
..... 高知県立紙産業技術センター 加工技術課 チーフ 鈴木 慎司
- (6) ナノファイバー不織布の作製と実用 (11.20~12.30)  
..... ナノファイバー研究会委員長, 東京大学 生産技術研究所 研究員,  
大阪成蹊短期大学 准教授 山下 義裕
- (7) 長繊維不織布技術—スパンボンド (13.20~14.30)  
..... 東洋紡(株) 生活・産業マテリアル統括部 スパンボンド事業部長 田中 茂樹
- (8) 不織布の用途について (14.40~15.50)  
..... クラレクラフレックス(株) 開発加工グループ グループリーダー 新井田康朗
- (9) 修了証贈呈式 (15.50~16.00)

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ不織布実用講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## テキスタイルカレッジ

## 実習：KES (Kawabata Evaluation System) による布特性の測定講座

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-F (auto system ではありません) によって布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES Thermo-labo II によって熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定していただきます。

布の物理特性について学びたい、KES-F を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に、布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 28 年 11 月 25 日 (金)

**会 場** 神戸大学発達科学部 (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車。

**講 義** 第 1 班：11.00～13.00、第 2 班：14.00～15.00

(1) KES-F による布の力学特性、表面特性、および熱・水分移動特性の測定

…………… 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

**実 習** 第 1 班：11.00～13.00、第 2 班：15.00～17.00

(2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定

2) 布の圧縮特性、表面特性の測定

3) 布の熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定

1 班を 3 つに分けて、ローテーションで実習を行います。

…………… カトーテック(株)ならびに井上真理

必要な方は実習後に質疑等お受けします。

**定 員** 第 1 班、第 2 班それぞれ 15 名 (計 30 名) (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**協 賛** 大阪染色協会

**参加費** 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ実習：KES による布特性の測定講座」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別、⑤第 1 班、第 2 班希望順位 (申込状況により第 1 希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください) を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 情報化委員会

**委員長** 保田 和則 (愛媛大学)

**委員** 武内 俊次 (福原精機製作所) 山下 義裕 (大阪成蹊短期大学) 横山 敦士 (京都工芸繊維大学)



テキスタイルカレッジ

## 合織の基礎と最新の技術

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし、質問にも答える時間を設けていますので、この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成28年12月6日(火)、7日(水) 10.00~17.10

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

**内容**

## 第1日目【12月6日(火)】

- (1) 化合織概論（10.00~12.00）……………山崎技術士事務所 代表 山崎 義一  
— 種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します。
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質（13.00~15.00）  
……………名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次  
— 3大合織とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係（15.10~17.10）  
……………龍谷大学 REC, P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭  
— 紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などと関連づけて解説します。

## 第2日目【12月7日(水)】

- (4) 合成繊維の高次加工—染色加工（10.00~12.00）  
……………元帝人、日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎  
— 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や機能性付与技術について、原糸開発との関連において、その基礎知識と最近の技術動向を解説します。
- (5) 合成繊維の高次加工—糸加工、製布（13.00~15.00）…日本繊維技術士センター 評議員 藤田 隆嘉  
— 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について解説します。
- (6) スーパー繊維とその用途展開（15.10~17.10）  
……………東洋紡(株) 機能材開発研究所 総合研究所 研究企画管理室 部長 寺本 喜彦  
— 近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 25,000円、非会員 33,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

**申込** 「テキスタイルカレッジ合織の基礎と最新の技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 第 44 回繊維工学研究討論会 2016 (ニューデリーにおける国際シンポジウム) The 44<sup>th</sup> Textile Research Symposium

今年の第 44 回繊維工学研究討論会は、インドのニューデリー市にある、Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学) に於いて開催します。繊維工学に関する発表(口頭またはポスター)を募集しておりますので、積極的なご参加、研究発表をお待ちしています。

- 期 日** 平成 28 年 12 月 13 日(火) 集合, 移動  
 12 月 14 日(水) 登録, 繊維工学研究討論会 1 日目  
 12 月 15 日(木) 繊維工学研究討論会 2 日目  
 12 月 16 日(金) 繊維工学研究討論会 3 日目  
 12 月 17 日(土) 国際交流  
 12 月 18 日(日) 移動, 解散

**会 場** 繊維工学研究討論会の会場: Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学)  
 Hauz Khas, New Delhi 110016, India (<http://www.iitd.ac.in/>)

**参加費** 一般参加者 400 US \$, 学生参加者 200 US \$ (支払いは会場受付)  
 参加費の中には、ローカルな交通費(空港ホテル間の送迎, ホテル会場間の毎日の行き来), 3 日間のティー/コーヒー, ランチ/ディナーの費用, 会議(本または CD), バッグの費用, 市内のエクスカージョンの費用が含まれています。

**発表申込** URL: [www.44trsiitd.com](http://www.44trsiitd.com) より申込み下さい。  
 発表申込・アブストラクトの締切: 平成 28 年 7 月 15 日(金)  
 フルペーパーの締切: 平成 28 年 9 月 15 日(木)

**参加申込** 平成 28 年 11 月 30 日までに事前登録をお願いします。

### オーガナイザー

インド側: Dr. B.K Behera, Department of Textile Technology, Indian Institute of Technology, Delhi, Hauz Khas,  
 New Delhi 110016, E-mail: [bijoy.behera@yahoo.com](mailto:bijoy.behera@yahoo.com)  
 Tel. 91-11-26592424, Fax. 91-11-26562503

日本側: 米田 守宏 (奈良女子大学 生活環境学部) 〒 630-8506 奈良市北魚屋西町  
 E-mail: [yoneda@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:yoneda@cc.nara-wu.ac.jp), Tel&Fax: 0742-20-3463

**旅行代金** 234,000 円 (SINGLE), 193,000 円 (TWIN) (宿泊費, 航空券を含む。只今の予定です。)  
 宿泊ホテル: Hilton Garden Inn New Delhi: 四つ星ホテル  
 フライトについて(現況の予定であり, 変更になる可能性があります。JL = 日本航空利用)  
 12 月 13 日(火) JL-3002 便伊丹 (8.00) - 成田 (9.20), JL-749 便成田 (11.35) - デリー (18.20)  
 12 月 18 日(日) JL-740 便デリー (20.20) - 成田 (12 月 19 日 7.10), JL-113 便羽田 (10.30) - 伊丹 (11.40)

**ビザについて** インド訪問にはビザが必要です。ビザ取得申込みも可能です。ビザ取得費用 9,100 円

**申込方法** 学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き, 以下宛先までお申し込み下さい。

**申込み先** 旅行企画・実施 (株)ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 賢次  
 〒 541-0052 大阪市中央区安土町 3-4-10 京阪神安土町ビル 3 F  
 TEL. 06-6266-2229, FAX. 06-6266-3447 (観光庁長官登録旅行業 第 1359 号)  
 E-mail: [hashimoto@jw-trvl.co.jp](mailto:hashimoto@jw-trvl.co.jp)

**問合せ先** 日本繊維機械学会 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: [info@tmsj.or.jp](mailto:info@tmsj.or.jp)  
 ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 TEL. 06-6266-2229, E-mail: [hashimoto@jw-trvl.co.jp](mailto:hashimoto@jw-trvl.co.jp)

## 第 45 回繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) 2017

**期 日** 平成 29 年 9 月 14 日(木)~16 日(土)

**会 場** 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

## 協賛行事 第154回講演会

- 日時** 平成28年8月4日(木)
- 会場** タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
- 主催** プラスチック成形加工学会
- 内容**
- (1) 熔融混練の基礎理論とCAEによる混練評価 ..... 九州大学 梶原 稔尚
  - (2) 実業務への押出CAEの活用とその限界について～FAN法, FEM, 粒子法の適用手段～  
..... 日本製鋼所 富山 秀樹
  - (3) 押出機内の樹脂流動解析を利用した混合・混練評価 ..... アールフロー 竹田 宏
  - (4) 二軸スクリュ押出機の2.5D FEM熱流動シミュレーションと実験検証 ..... HASL 谷藤眞一郎
  - (5) ゴム混練機とその内部の混練解析 ..... 神戸製鋼所 福谷 和久
- その他** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい。

## JTCC 第55回講演会

- 日時** 平成28年8月5日(金) 13.00～16.30
- 会場** 大阪産業創造館5F研修室E (大阪市中央区本町 1-4-5)
- 内容** 「高機能・高性能繊維の基礎と用途展開」
- 「燃料電池の開発の歴史と今後の展開」  
..... 田島收技術士事務所長, 山梨大学 客員教授 田島 收
- 2015年には家庭用燃料電池「エネファーム」の設置台数が15万台を超え、2014年12月15日にはトヨタから燃料電池自動車 (FCV) 「ミライ」が一般販売され、2016年3月10日にはホンダから「クラリティフューエルセル」がリース販売されました。水素ステーションの整備を含めて、水素・燃料電池に関する関心が高まっています。これまで約40年間に渡って燃料電池の開発に従事すると共に、現在も国際標準化IEC/TC105 (燃料電池), ISO/TC197 (水素技術) 活動に参加しています。今回は、燃料電池の発電原理、電池構成及び開発の経緯並びにエネファーム、FCV及び水素ステーションの現状と将来展望について分かり易く説明します。
- 「セルロースナノファイバーを用いた次世代電子デバイスの開発」  
..... 大阪大学 産業科学研究所 材料研究分野 准教授 能木 雅也
- セルロースナノファイバーは、日本再興戦略に取り上げられるなど、最近、世間を賑わしている新材料です。その用途は、構造材料や機能材料、コスメティック材料など多岐にわたります。本発表では、ナノセルロースを用いたペーパーエレクトロニクスの実用事例を紹介します。
- 主催** 日本繊維技術士センター
- 共催** 日本技術士会近畿本部繊維部会, 日本染色加工同業会
- 申込・問合先** 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)  
TEL: 06-6484-6506, FAX: 06-6484-6575, E-mail: jtcc@nifty.com
- その他** 詳細は日本繊維技術士センターのHP (<http://jtcc.c.ooco.jp/>) をご参照下さい。

## 京都女子大学専任教員募集要項

1. 職名及び人員 家政学部生活造形学科教授（契約）・教授又は准教授で、且つ大学院家政学研究科生活造形学専攻博士前期課程授業担当教員 1名
2. 専門分野 染色加工学、アパレル管理学
3. 担当予定科目 大 学：「生活造形基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「衣生活概論」「アパレル染色学」「アパレル管理学」「工芸染色実習」「テキスタイルアドバイザー実習」「アパレル染色整理学実験」「生活造形学専門演習」「生活造形学卒業研究演習」  
大学院：「アパレル造形学特論ⅤA・ⅤB」
4. 採用年月日 平成29年4月1日
5. 応募資格 (1) 京都女子大学教員資格審査規程第6条及び第7条又は第8条に該当する者並びに京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規第3条第1項に該当する者  
(2) 博士の学位を有する者、あるいはそれに相当する研究業績を有する者
6. 提出書類 (1) 履歴書及び業績書※  
(文部科学省の定める「専任教員の個人調書」に準じた本学の様式とする)  
(2) 最近10年間の著書・主要論文（又は抜刷り）5点 各2部  
(3) 着任後の教育・研究に対する抱負を1,200字程度にまとめたもの（A4判横書1枚）  
(4) 「アパレル染色学」（2単位）及び「アパレル管理学」（2単位）のシラバス（15回分）※
7. 選考方法 京都女子大学の教員資格審査規程に基づいた書類審査と面接審査を行う。面接審査には模擬授業を含めることがある。なお、面接審査を行う場合は9月22日（木）～9月24日（土）に実施する。  
(面接審査等にかかる旅費、宿泊費は応募者の負担とする)
8. 応募締切日 平成28年9月13日（火）17:00 必着
9. 提出先 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 番地  
京都女子大学 教務部学部事務課  
(郵送の場合は「教員募集応募書類在中（造形S）」と明記し、書留とする)
10. 処 遇 給与などの勤務条件は、本学の就業規則・俸給規程等の諸規定を適用します。(定年は教授（契約）73歳、教授及び准教授65歳)
11. そ の 他 ①応募書類により取得する個人情報、本学の個人情報保護に関する規程に従って適正に管理し、選考以外の目的には使用しません。  
②提出いただいた応募書類等は、原則として返却いたしません。本学にて適切に処分いたします。返却を希望される方はその旨を明記してください（着払いにて返送いたします)
12. 書式請求及び 京都女子大学 教務部学部事務課  
問い合わせ先 電話：075-531-7045 F A X：075-531-7216

※提出書類（1）（4）は、本学 Web サイトの採用情報  
(<http://www.kyoto-wu.ac.jp/gakuen/recruit/n6eaci0000001uge.html>)  
からダウンロードしてください。

※なお、平成28年8月8日～8月16日は閉室とさせていただきます。

## 海外繊維技術文献集 Vol. 66, No. 3 (2016-5) 内容目次

### 全訳

- ・イオン液体溶液中での天然セルロースの膨潤挙動

### 抄録

- ・ポリプロピレン糸のヒートセットパラメータの予測における人工ニューラルネットワークと応答曲面法の比較
  - ・梳毛グレード羊毛糸のかさ高さを改善するための新しいアプローチ
  - ・織布中の糸の形状
  - ・多層織物構造の理論
  - ・バサルトフィラメント糸の編組
  - ・リング及びコンパクト双糸からなるシングルジャージの熱特性の研究
  - ・ポリエステル／綿添え糸編み構造の温熱生理特性に及ぼすループ長とフィラメント繊度の影響
  - ・ラジカル重合用の可視光吸収一成分光重合開始剤の 1,4-ナフトキノン誘導体
  - ・染料を分解する銀・銅ドーパ TiO<sub>2</sub> 触媒の調製とキャラクターゼーション
  - ・繊維や生地を金属化する紫外線
  - ・銀のスパッタリングおよび連続プラズマ処理によって修飾されたビスコースレーヨンベース活性炭素布の性能
  - ・撥水・撥油性綿織物用 dendritic 技術
  - ・デニム生地の物理特性と風合いに及ぼすバイオウォッシングと液体アンモニア処理の影響
  - ・繊維の仕上げ加工における効果的な省エネ方法
  - ・プラズマ技術によるニットウェアの機能処理
  - ・セリシンを基盤としたメディカル用途のポリエステルテキスタイル
  - ・高分子化学における新しいベンゾチアゾール系増感剤の合成、特性、応用
  - ・天然染料の *Helichrysum arenarium* で染色した絹織物のダイオードアレイ検出器付き逆相クロマトグラフィーによる比色及び堅ろう度の研究
  - ・ワンパス連続染色法による低濃度ポリメチロール染料で染色した濃色のポリエステル／綿混紡品
  - ・反応染料で絹を染色する際の少量の第四級アンモニウム化合物による促進効果と吸着速度
  - ・超音波バイオ媒染染色におけるアーモンド殻廃棄物の価格維持：金属媒染剤の代替
  - ・染料の堆積とカプセル化したフォトクロミック染料で処理した綿織物の紫外線防護性能
  - ・捺染布のコンピュータ化色分離システム
  - ・切断抵抗手袋の開発におけるリサイクル PPTA 繊維の組み込み
  - ・スキャンされた人体からの 3D ネットラインの決定
  - ・短繊維紡績におけるカーボン繊維加工の可能性
  - ・消防士用防護服の生地の特性評価：圧縮による熱水浸漬法
  - ・人体からの赤外線放射を反射するスペーサー布による保温性
  - ・薄地織物のシームパッカリングに及ぼす編目角度の影響
  - ・繊維集合体の吸音挙動に関する研究
  - ・染色された繊維の飛行時間型質量分析方法による裁判用先進微量鑑定
  - ・生地と不織布用のナノコーティング
  - ・セルロースナノ結晶懸濁液のレオロジー的挙動：濃度およびアスペクト比の影響
  - ・セルロースエステルおよびポリ（エチレン 2,6 ナフタレート）オリゴマーのブレンドに於ける強い配向性相関および光異方性
  - ・電磁波シールド用綿織物に及ぼす多層カーボンナノチューブ分散剤としての高分子電解質およびドデシル・ベンゼン硫酸ナトリウムの比較
  - ・CO<sub>2</sub>/CH<sub>4</sub> 分離用のポリスルホン / 酸化亜鉛ナノ粒子混合マトリックス膜
- 購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい。

### 海外資料研究委員会

委員長	米田 守宏 (奈良女子大学)
委員	岡野 志郎 (日本繊維製品品質技術センター) 安井 康二 (元カケンテストセンター) 山崎 隆 (京都教育大学名誉教授)
	和田 邦身 (元カケンテストセンター)

## バーチャルテキスタイル研究会のご案内と入会のお誘い

繊維製品は衣服をはじめとする日用品から工業製品にまで多様な分野で使用されています。その制作工程は長い歴史があり、多様な技術開発の積み重ねにより高精度で多くの繊維構造体の作成が可能となった結果、多様な繊維製品を市場に送り出しています。

他方、コンピュータをはじめとした情報機器が発達し、その高速データ処理機能を製造現場において活用する試みが急速に進んでいます。また、近年では製造現場のみならず製品開発過程におけるコンピュータ利用が進み、製品設計開発におけるコンピュータ利用技術（CAE）の導入が進んでいる状況です。

このような技術展開は繊維製品においても始まっており、各種シミュレーション技術を用いてバーチャル空間で繊維製品の表現し、さらにはその機能的な評価を行うことで、より効率的な製品開発を行う試みが各所で始められてきています。

総合的な繊維製品の製品開発におけるコンピュータ利用についての調査・研究を行う本研究会は、繊維製品のコンピュータによる表現技術、変形挙動や機能特性のシミュレーション技術等、繊維製品の製品開発におけるコンピュータ利用についての情報収集を行うことにより、コンピュータを利用したより高度な繊維製品開発技術の可能性について、研究例会または見学会を年2,3回予定しています。

研究会の設立趣意にご賛同の方々のご入会をお待ちしています。

**活動** 活動は4月から翌年3月までを1年度とし、1年度に研究例会を2,3回開催予定。

その他、必要に応じて見学会、協賛共催行事を行う。

基本的に登録メンバーのみによる活発なディスカッションを主体に活動します。

**設立発起人** (順不同)

横山敦士（京都工芸繊維大学）、石丸園子（東洋紡）、中西康雅（三重大学）、西脇剛史（アシックス）、山下義裕（大阪成蹊短期大学）

**運営分担金**

- ・運営分担金は、会場借上費、会費、資料作成費、通信連絡費、講師謝礼・交通費等に充当します。
- ・法人（企業・団体）メンバー：20,000円（税別、年額）同一企業・団体から複数名の参加が可能。
- ・個人メンバー（大学、公設試ならびにそれに準ずる方）：5,000円（税別、年額）登録者本人のみ研究会へ参加が可能。代理参加をすることはできない。
- ・学生1,000円（税別、年額）登録者本人のみ研究会へ参加が可能。代理参加をすることはできない。

**入会方法** 学会HPより研究会入会申込書のダウンロードし、下記宛先までお申込み下さい。

**申込先** 日本繊維機械学会バーチャルテキスタイル研究会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### 学会誌編集委員会

**委員長** 勝圓 進（倉敷紡績）

**副委員長** 岡本 陽子（神戸女子大学）

<b>編集委員</b>	一田 昌利（京都工芸繊維大学）	乾 明子（カケンテストセンター）	大萩 成男（和歌山県工業技術センター）
	岡田 倫子（滋賀県東部工業技術センター）	勝 真理（アシックス）	迫部 唯行（ユニチカ）
	澤田 淳（帝人）	鈴木 芳史（帝人）	高橋 朋子（TMT マシナリー）
	中川 隆（村田機械）	峯村 慎一（東洋紡）	村井 大輔（消費科学研究所）